

『京大広報』 隔地施設紹介シリーズ

「地に根づき、未知に挑む—京都大学隔地施設紹介」の刊行にあたって

京都大学では多様な教育研究活動が展開され、多くのユニークな成果が産み出されています。その中で、全国各地にある附属施設がそれぞれ独自の研究やフィールド科学の拠点となり、重要な役割を果たしています。

『京大広報』では、これらの隔地施設とそこでの活動を学内外に広く知っていただくため、各施設から原稿を提供いただき、2007年1月(No. 619)から2009年12月(No. 651)までの3年間にわたって33回のシリーズとして掲載しました。この隔地シリーズは、各方面からご好評をいただき、また京都大学にとっても貴重な資料であることから、シリーズの記事を集約し冊子として刊行する運びとなりました。この冊子が、本学の教育研究を支える全国の隔地施設の紹介とその活動の記録となり、京都大学のすぐれた魅力を発信する一助になれば幸いです。

本冊子の刊行にあたっては、『京大広報』刊行時の記事には手を加えず、その後の変更や新たに加わった事項を「追記」として掲載しています。それによって、時代に応じて組織や活動内容が変化している様子も汲み取っていただけるものと存じます。

本冊子によって、多様かつ多彩な活動を行っている京都大学の隔地施設についてご理解を深めていただき、その活動にご支援をいただきますようお願い申し上げます。



平成22年11月

京都大学理事・副学長

塩田 浩平